

RPSJ NETWORK

Railway Preservation Society of Japan

日本鉄道保存協会 会報
2003 MARCH 第7号

日本鉄道保存協会総会及びシンポジウムを終えて



C11 形 325 号の前で記念撮影



意見交換会：イギリスの国際会議の発表



真岡駅に到着した C12 形 66 号



機関士に保守のことを聞く参加者

平成 14 年度の日本鉄道保存協会の総会とシンポジウムが去る 8 月 29 日（木）に真岡市（栃木県）で行われた。本年の幹事は、真岡線 SL 運行協議会が担当され、全国から歴史的鉄道車両の動態保存をおこなっている鉄道会社や自治体、保存会等 14 団体、オブザーバー合わせて 62 名が参加し、盛会となった。

真岡線 SL 運行協議会は、沿線の 1 市 5 町が参加している団体で、第三セクターの真岡鉄道線に、

2 両もの SL を所有している。東京近郊という立地にも恵まれ、また、沿線には、多くの歴史、自然遺産があるなど魅力あふれる鉄道として多くの人々が訪れている。

今大会の見学にも様々な沿線の見どころが組み込まれ、総会の前に、益子焼で知られている益子焼メッセを訪れるなど趣向をこらした内容となった。美しい農村景観が広がる関東平野を快走する SL 列車の乗車体験も素晴らしく、イギリス

製のポニーリーレントラス橋を2回も渡った。

さて、総会は、地元を代表して益子町長平野良和氏の挨拶で始まった。当財団の増田常務理事、来賓の栃木県交通対策課長 関澤繁様の挨拶後、平成14年度事業・決算報告、さらに平成15年度事業計画・収支予算がはかられた。

シンポジウムでは、昨年、イギリス・ヨーク市の国立鉄道博物館で開催された「保存鉄道に関する国際会議」の内容を日本側代表として参加された菅健彦氏（東日本文化財団事務理事）が話された。また、青木栄一氏（駿河台大学教授）は、イギリスを中心としたヨーロッパ保存鉄道の活動状況を分析し紹介、さらに堤一郎氏（産業考古学会）からは、動態保存を支える技術の伝承に関するレクチャーがあった。いずれも迫力あるお話で、参加者から好評だった。これらの発表を受けた意見交換では、我国の歴史的車両の動態保存を末永く発展的に継続するために次々と意見が出された。コメンテーターの小池滋氏（東京女子大学名誉教授）からは、アマチュアリズムを基本に楽しく動態保存に関わることの大切さをご教示いただいた。これからも一步一步、力を合わせて保存をめざしたい。

（日本鉄道保存協会事務局長 米山淳一）

★ 総会の報告 ★

益子町にある「陶器メッセ」で浜田庄司をはじめとする数々の益子焼きの陶芸作品を見学した後、益子駅より真岡線SL運行協議会が動態保存するC12形66号蒸気機関車に乗車し、真岡駅へ向かった。参加者は、SLの車窓から稲穂の実る田園風景を楽しんだ。真岡駅構内では機関庫で待機するもう1台の動態保存車両C11形325号の保守状況等の説明を受けた。

その後、場所を移し、平成14年度総会をおこなった。総会には、顧問の青木栄一氏小池滋氏、松澤正二氏、当財団の増田浩三担当理事をはじめ全国から14団体から36名、賛助会員6名、オブザー20名が出席した。まず、「磐越西線“SL”運行推進

協議会」の加盟を承認し、「なつかしの尾小屋鉄道を守る会」の退会を報告した。その後、平成12年度の事業、収支、監査の報告と平成13年度の事業計画・収支予算などの審議をおこなった。平成13年度事業では、東海旅客鉄道「佐久間レールパーク」での総会の開催のほか、財団法人日本ナショナルトラストのヘリテイジセンター「長浜鉄道文化館」での展示協力や欧米諸国10ヶ国の保存鉄道及び歴史的遺産の保存活用に関する国際会議への出席、加盟団体相互でのパンフレットの交換などを実施した。平成14年度の事業では、当協会加盟団体の紹介パンフレットと国際会議のレポートを作成することが決まった。また、次回総会は西日本旅客鉄道で開催する。総会後は、開催地団体の真岡線SL運行協議会の歴史的車両の保存の取り組み発表やイギリスでの国際会議の報告をおこなった。

翌30日は、真岡市内にある明治初期に木綿問屋として栄えた岡部家の蔵づくりの別邸「金鈴荘」を見学した後、益子町にある旭工学工業の「ペンタックスカメラ博物館」を見学。江戸末期からのカメラの変遷が実物展示され、大変興味深かった。最後に、茂木市にあるホンダのサーキット場「ツインリンクもてぎ」に併設されたコレクションホールを見学した。

バイク・車、サーキット車が産業遺産として展示されており、会社創設期の製品から現代までの最新型製品が一同に集められた展示に参加者は魅了された。今回の見学会は、SL運行が2市5町に点在する各地の観光資源を結んで、地域振興に大変、貢献していることを実感した内容の濃い見学会であった。（事務局 松本恵子）



ホンダコレクションホール

加盟団体からのお知らせ

★ 丸瀬布町 ★

—E 形 103 号機を譲渡—

1993 年に西武鉄道から本町に譲渡された旧日本陸軍鉄道体の E 形 103 号機（ドイツ・オーレンシュタイン&コッペル社製）を昨年 10 月にドイツのフランクフルト・フェルトバーン・ムゼウムに譲渡いたしました。

譲渡したことに對して賛否両論あるかと思いますが、搬出作業に立ち会ったドイツの方々の強い復元への思いを感じました。



E 形 103 号機

★ 北海道旅客鉄道株式会社 ★

—JR 北海道2003年度、2両のSLによる 四季を通した多彩なイベント開催—

弊社では、昨年から今年にかけ、苗穂工場に於いて、2両のSLに対して中間性能検査を実施し、動輪の車軸及び車輪を全て新しいものに取り替え、各機器の検査修繕も行い、万全な体制で2003年度のイベントを計画しています。

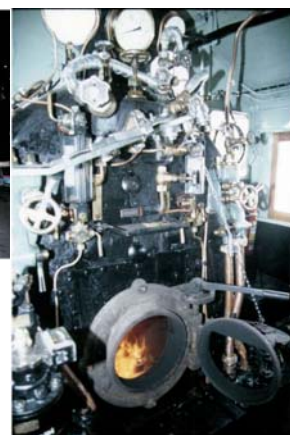
更に、2003年度はC11-171号機の全般検査を計画し、永くその雄姿を保存できるよう努力して参ります。



C11-171号機足入れの様子



左) 整備済みの動輪



右) 火入れ直後のボイラー

☆2003年度SLイベント列車計画

1) 春

- SL 函館・大沼号
函館線〈函館～森〉 4月～5月
- SLすずらん号
留萌線〈深川～増毛〉 5月～6月

2) 夏

- SLノロッコ号
富良野線〈旭川～富良野〉 6月
- SL 函館・大沼号
函館線〈函館～森〉 6月～9月

3) 秋

- SLすずらん号
留萌線〈深川～増毛〉 9月
- SLノロッコ号
富良野線〈旭川～富良野〉 9月
- SLニセコ号
函館線〈札幌～蘭越〉 9月～11月

4) 冬

- SLクリスマス号
函館線〈札幌～小樽〉 12月
- SL冬の湿原号
釧網線〈釧路～標茶〉 1月～3月

★ 小樽交通記念館 ★

— 義経号・しづか号再会ランデブー —

入館者 2 万人を超える —

平成 14 年 9 月 1 日から 10 月 14 日まで開催した「義経・しづかの対面」では、2 万人を超える来館者になりました。期間中は幼児や生徒が再会の姿をスケッチしたり、熱心に写真撮影をしているファンの方など幅広い層の皆様に見学していただきました。

現在、当館は冬期休館中ですが SL「アイアンホース号」が格納されている機関車庫や周辺の重要文化財施設を中心に除雪作業を行っています。

また、並行して来シーズンに向けてイベントの企画・準備作業も進めております。オープン は 4 月 19 日を予定しておりますので、皆様のご来館をお待ちいたしております。



重要文化財施設の除雪作業



対面展示の様子

★ 磐越西線”SL” 運行推進協議会 ★

— デゴイチによるイベント運行 —

2 月 1 日・2 日の両日、JR 会津若松駅～郡山駅間で、「デゴイチ」が冬の会津路を疾走し、沿線各地は SL 一色に染まりました。4 月から 11 月の定期運行では、貴婦人の愛称で親しまれている C57 が運転していますが、今回はイベント運行として、D51 が運転。名称は同じ「SL 磐梯会津路号」です。このイベント運行は、平成 2 年より磐梯・会津路の冬の風物詩として地域に定着しており、本年も沿線各駅で多彩なイベントを展開し、多くのファンが注目しました。JR 会津若松駅構内では、出発イベント・セレモニーを実施。SL に乗り込み、観光パンフレットや「酒かすプリン」、第 2 回ふくしま特産品コンクールで優秀賞に輝いた「ごまみそせん」をプレゼントし、乗客からは好評でした。セレモニーでは、菅家会津若松市長、小関 JR 会津若松駅長あいさつの後、乗客代表らとともにくす玉を割り、出発を祝いました。ホームでは酒・甘酒の振る舞いをはじめ、JR 東日本仙台支社のプラスバンド、柳津福満太鼓や会津キャンペンクルーの白虎隊踊りにより、会場を盛り上げました。

★ 真岡線 SL 運行協議会 ★

— 様々な人に支えられる SL もおか —

昨年夏の総会の折りは、ご多忙のところ「SL もおか」の走る真岡市にお越しいただきまして、ありがとうございました。また、真岡線の SL 列車は、SL ファンや沿線の方々の暖かい声援を受け、順調に運行しています。

SL 運行に関する近況をお知らせします。

☆ 寺内駅に SL 停車

平成 14 年 12 月 1 日から寺内駅に SL が停車することになりました。

寺内駅は、真岡市の 5 駅のひとつで中村地区へ

の玄関口。地元自治会の要望により停車することとなった寺内駅では、12月1日（日）に地域住民など約400人が集まり、幼稚園児による太鼓やマーチングの演奏などの歓迎イベントが行われ、SL停車を祝いました。また、地元の愛育会の子どもと保護者がSLに乗り込み、記念乗車を楽しみました。

なお、寺内駅でのSL停車時間は、上り、下りとも1分間となります。

「SLもおか」の運行時刻（週末の土・日曜日、祝日に1日1往復）

下り列車	下館駅（10時36分発） 茂木駅（12時02分着）
上り列車	茂木駅（14時29分発） 下館駅（15時58分着）

☆SL絵画展・フォトコンテスト開催

真岡線のSLをテーマとした絵画展、フォトコンテストを実施しました。

絵画は、沿線の幼稚園（保育園）の園児や小学生から581点、写真は県内外から229点の応募がありました。絵画展の大賞に選ばれた真岡東小学校1年の村山さんの「みんなをのせて」と題した作品は、みんなと一緒にSLに乗って出かけたときの楽しさが描かれており、子ども達の夢や感動を育むSLの魅力を改めて感じたところです。



推薦「冬日」/浜野量弘さん（足利市）



大賞「みんなをのせて」/村山洋哉さん（真岡市）

★ 財団法人東日本鉄道文化財団 ★

— 汐留に旧新橋停車場駅舎が完成 —

当財団は全額 JR 東日本の出捐によって設立され、鉄道を通じた地域文化振興、鉄道に関する調査研究の奨励、鉄道に関わる国際文化交流などの事業を行っています。

2003 年 4 月、汐留再開発地区の中に当財団が建設する旧新橋停車場駅舎が完成します。その中に鉄道歴史展示室を開設し、旧駅舎の遺構からの出土物などを展示するほか、年に数回企画展を開く予定です。

なお、当財団を設立した東日本旅客鉄道は、蒸気機関車 C57180 号、D51498 号、電気機関車 EF551 号などを動態保存し、季節定期列車「SL ばんえつ物語号」をはじめ各種のイベント列車を磐越西線、上越線などで運転しています。

□問合わせ先：（財）東日本鉄道文化財団

〒151-8578 東京都渋谷区代々木 2-2-2

TEL 03-5334-0623 FAX 03-5334-0624

<http://www.ejrcf.or.jp>

<http://www.jrtr.net>



旧新橋停車場再現駅舎完成予想図

★ 赤沢森林鉄道 ★

— 紅葉の中を走る森林鉄道は連日運行！ —

2002 年は、秋の紅葉の時期に連日運行を初めて行ってみました。お客様からの反響も良く、緑中の紅葉を楽しんでいただけたと思います。2003 年も秋の連日運行を予定していますので、お立ち

寄りの際は、是非、乗車してみたいかでしょうか。

また、2003 年に向けて森林鉄道ホームページ等を整備していく予定です。詳しくは、上松町観光協会までお問い合わせ下さい。

□問合せ先：上松町観光協会

長野県木曽郡上松町駅前通り 2-13 上松町役場内

TEL 0264-52-2001 FAX 0264-52-1038

E-mail hinoki@avis.ne.jp

★ 大井川鐵道 ★

—C11190 号修復状況報告展示会の開催—

蒸気機関車 C11190 号機の修復状況をお客様にご報告するため、「C11190 号修復状況報告展示会」が開催されました。

日 時：平成 15 年 1 月 11、12、13 日

9：00～15：30

場 所：千頭駅構内

展示車両：C11190・C11227（蒸気機関車）

6010・313（電車）

3 日間で約 700 名のお客様にご来場いただきました。



蒸気機関車 C11190 号機

★ 加悦SL広場「カヤ興産株式会社」 ★

—5 月と 11 月にイベントを実施—

保存車両は蒸気機関車／2 号（1873 年 英国スチーブンソン社製）を筆頭に 5 両を展示しています。又、ディーゼル機関車／DB201 号（1953 年 森製作所製）等、動態保存車両が 3 両。その他にも大変貴重な明治・大正製の木造客車や車掌車、

ラッセル車など園内に 25 両展示、保存しています。昨年は 5 月と 11 月にイベントを実施致しました。動態保存車両の展示運転（園内）やモーターカーのジャッキアップ実演、ライブスチームの運行などを行ないました。

保存車両の修復・修繕状況は現在、主に各保存車両の外板補修とボランティア団体の「加悦鉄道保存会」様のご協力のもと「キハ 101 形 気動車」の動態化を実現すべく修復を行っております。

修復の詳細情報につきましては加悦鉄道保存会様のホームページを御覧下さいませ。

□問合せ先：カヤ興産株式会社 管理部

TEL 0772-42-3186

<http://ka8tetsu.hp.infoseek.co.jp/index.html>

★ 山口線 SL 運行協議会 ★

—SL やまぐち号運行日を計画—

毎年、全国の SL ファンの皆様からご好評をいただいております「SL やまぐち号」は今年で 24 年目を迎えます。今年も 3 月 21 日（祝）の運転を皮切りに 11 月 30 日（日）まで、昨年より 13 日間多い、延べ 126 日間運転します。

期間中のすべての土曜、日曜、祝日に運転することを基本とし、春休み、ゴールデンウィーク、夏休みを中心により一層ご利用しやすい運転日を計画いたしました。

また、今年は紅葉シーズンの 11 月に運転日を増やし、皆様のご利用をお待ちしております。

■ 今年の「やまぐち号」は、3 月 21 日（祝）から 11 月 30 日（日）まで、延べ 126 日間運転します。

■ 期間中の土曜、日曜、祝日はすべて運転します。また、紅葉シーズンのハイキングやりんご狩り等に合わせ 11 月の運転日（金曜日）を増やしました。

■ イベントについては、3 月 21 日（祝）のオープニングイベントを始め、8 月 1 日（金）の 24 周年記念イベントや、昨年好評でありました

「SL 乗車体験親子ふれあい教室」等色々なイベントを計画しています。

- 6 月のすべての運転日と 7 月の土曜日、日曜日、祝日および 8 月 1 日（金）の運行記念日には、C56 号機との重連運転を計画しています。重連運転日には、マイテ 49-1 展望車を連結します。
- 大正風客車の一部を改造し、展望スペースを設けました。
- 「SL やまぐち号」の記念乗車証のデザインを一新します。

★(財)日本ナショナルトラストトラストトレイン★

—古河電池(株)より客車用バッテリーを

寄贈していただきました—

かねてから取り替えが必要だった客車のバッテリーを古河電池からご寄贈いただき、昨年 10 月 19 日の運転日を前に交換をしました。動態保存を開始した昭和 63 年以来、ずっと使い続けていたバッテリー 36 個が新品に換わり、おかげさまで車内灯などの電源確保に心配がなくなりました。その車内灯ですが、スハフ 43 の車内灯を白熱灯にする復元する計画ですが、ガラスの白熱灯カバーの数が不足しています。古い客車が少なくなった今、手に入れるのが困難な状況です。情報がありましたら、ぜひご一報をお願いします。



寄贈されたバッテリー

☆平成 15 年の運行日

4 月 19 日（土）・5 月 24 日（土）・6 月 21 日（土）
7 月 12 日（土）・8 月 23 日（土）・9 月 27 日（土）
10 月 18 日（土）・12 月 6 日（土）



茶畑を快走するトラストトレイン

☆ED70 形 1 号交流用電気機関車を永久保存

我が国初の交流電化方式による営業路線である北陸本線（田村—敦賀駅）の開業（昭和 32 年 10 月）に合わせて新造された交流用電気機関車で、技術的・歴史的価値の高い車両である ED70 形 1 号が西日本旅客鉄道から、このたび財団法人日本ナショナルトラストへ寄贈されることになりました。

すでに、開館している当財団所有のヘリテージセンター「長浜鉄道文化館」に隣接するかたちで平成 15 年 4 月の竣工を目指す新たなヘリテージセンター「北陸線電化記念館」の内部に保存・展示する計画で、7 月上旬開館の予定です。



建設中のヘリテージセンター「北陸線電化記念館」

□問合せ先：(財) 日本ナショナルトラスト
TEL 03-3214-2631 FAX 03-3214-2633

★(財)日本ナショナルトラストのヘリテイジセンター

「長浜鉄道文化館」にて平成 15 年度も継続で日本鉄道保存協会展を開催★

2000 年 10 月 14 日の「鉄道の日」に開館した、(財)日本ナショナルトラストの 5 番目のヘリテイジセンター「長浜鉄道文化館」にて昨年度に引き続き、平成 15 年度も日本鉄道保存協会展を好評につき開催します。「長浜鉄道文化館」は、現存する日本最古の旧長浜駅舎に併設して建設され、内部には鉄道の町として栄えてきた地域の歴史、文化を紹介するパネルや関連の資料を展示しています。

今年は、当協会が加盟団体を紹介するパンフレットを作成しますので、併せて配布する予定です。機会がありましたら、ぜひご覧下さい。

【長浜鉄道文化館・ご利用案内】

□開館時間：9:00～17:00 (入館は 16:30 まで)

□入館料：大人 300 円、小・中学生 100 円
(20 名以上は 2 割引き)

□休館日：12 月 29 日～1 月 3 日

□所在地：〒526-0057 滋賀県長浜市北船町 1-41
TEL 0749-63-4091

左下) 日本鉄道保存協会紹介パネル
右下) 海外の保存鉄道の写真パネル



★ 平成 15 年度総会について ★

平成 15 年度総会は、西日本旅客鉄道株式会社で開催いたします。大阪の交通科学博物館や京都の梅小路蒸気機関車館の見学会、嵯峨野観光鉄道のトロッコ列車の試乗を予定しています。開催時期は 9 月 18 日(木)・19 日(金)を予定しています。JR 西日本が保存するバラエティ豊かな歴史的鉄道車両を、ぜひ多くの方に見ていただきたいと思います。詳細が決まりましたら、ご案内いたします。



梅小路蒸気機関車館で動態保存されている C62 と B20